

第 237 回 江東区の三十六童子像、伊能忠敬像、及び富岡宮司像（その 1）

筆者：林 久治（記載：2023 年 5 月 26 日）

（1）前書き

私（筆者の林）は [Random Walks（乱歩）](#) という題名で [偏屈老人（林久治）の気促な紀行文](#) のサイトを始めている。私の紀行文では、通常の紀行文にはない、斜め目線からのご紹介を書くことに拘りたいと思います。通常の紀行文に関しては、既に優れたサイトが沢山ありますので、それらをも引用しつつ、ユニークなご紹介を記載することに心掛ける所存です。

一方、私は日本の銅像探偵団 ([1\) のサイト/](#)) の銅像探索に参加している。私は珍しい銅像を探して、探偵団の団長さんに「ギャフン！」と仰っていただけることを目標としている。ここで「珍しい」とは、「①見つけ難い場所に隠れている有名人の銅像。②市井で頑張って人生を過ごしたが、有名人ではない人物の銅像」と言う意味である。私は自宅が東京にあり、孫達が大阪にいたので、主として東京近郊と近畿地方で銅像探索を行っている。最近、私はネット記事を丹念に調査し、そのような「スクープ銅像」の候補を多数見つけている。

武漢肺炎による自粛生活で家に籠っていると、運動不足で体重が増加するし、精神的にも圧迫を感じる。私の銅像探索は不要不急の活動ではなく、私の生存に必要な不可欠である。昨年の 7 月は、第 7 波と猛暑のため、私は銅像探索をしばらく自粛していた。しかし、大阪在住の 3 人の孫達は夏休み前に感染したが軽症であった。そこで、私は 9 月初旬に大阪に行き、近畿の銅像を探索した。東京に帰ってから、運動を兼ねて銅像探索を続けている。私の銅像探索記の全ては、[2\) のサイト/f](#) から閲覧出来ます。

私は 3 月 21 日から 31 日まで、大阪に滞在し孫達の世話をした。その間に、銅像探索も少しは出来た。[227 回の記事/f](#) では、その中から大阪市の弘世像の探索記を記載した。[228 回の記事/f](#) では、茨木市の奥田光像の探索記を記載した。[229 回の記事/f](#) では、京都市の田辺朔郎像の探索記を記載した。[230 回の記事/f](#) では、大阪市中央区の林市蔵像の探索記を記載した。

私は 5 月 5 日に、東大和市の円乗院にある覚鑿上人像を探索し、その探索記を [235b 回の記事/f](#) に記載した。その際、[3\) のサイト/3](#) で「[円乗院は豊島郡上神石井村新義真言宗三宝寺に属する](#)」ことを知った。そこで、三宝寺の記事をネットで見てみると、そこに [羅多羅童子（らたらどうじ）像](#) があることを知った。羅多羅童子とは何であろうと調査すると、[4\) のサイト/1](#) で「[不動明王には、三十六童子という従者がいて、羅多羅童子はその一人である。高尾山の薬王院には三十六童子像がある](#)」ことが分かった。

私は早速、三宝寺に行ってみたが、羅多羅童子像は境内にはなく、社務所からは「本殿内にあるので見えません」と言われた。また、高尾山は自宅からいささか遠いので、「東京 23 区内に三十六童子像があるか？」と調べると、[5\) のサイト/8](#) で「[深川不動堂に三十六童子の内、制吒迦童子、矜羯羅童子、及び不動慧童子の銅像がある](#)」ことが分かった。

これら 3 像は [1\) のサイト/](#) に収録されていないので、私は 5 月 21 日、深川不動に行き、これらを探索した。私は、そのついでに隣の富岡八幡宮にも寄って、その伊能忠敬像と富岡宮司像も探索した。これら両像は [1\) のサイト/](#) に収録されて

いるが、基本情報が記載されていないので、それらを調査した次第である。本稿はそれらの探索記である。なお、本稿では私の意見などを青文字で、資料の内容などを緑文字で記載する。

(2) 深川不動堂と富岡八幡宮

深川不動堂と富岡八幡宮の周辺地図を図1に示す。両者は隣接しており、地下鉄東西線の門前仲町駅からすぐ近くにある。



図1. 深川不動堂と富岡八幡宮の周辺地図

富岡八幡宮と深川不動堂の略歴は、ウィキペディアに次のように書かれている。

①富岡八幡宮は江戸最大の八幡宮で、八月に行われる祭礼「深川八幡祭り」は江戸三大祭りの一つ。また江戸勲進相撲発祥の神社で、境内には「横綱力士碑」をはじめ大相撲ゆかりの石碑が多数建立されている。1627年、菅原道真公の末裔といわれる長盛法印が神託により、当時永代島と呼ばれた小島に創祀したのが始まりとされる。長盛法師は同じ地に別当寺院として永代寺も建立している。1945年3月10日の東京大空襲により焼失。同年3月18日に、空襲罹災地巡幸のため、昭和天皇が境内を訪れた。戦後、第18代宮司の富岡盛彦は再建に努め、1956年に現在の社殿が造営される。盛彦は1959年に神社本庁の事務総長（現在の総長）になり、神道の復興に努めた。2017年12月7日、本社境内で「富岡八幡宮殺人事件」が起きた。（本事件の詳細は、本稿の続編に記載する。）

②深川不動堂は江東区富岡にある真言宗智山派の寺院であり、千葉県成田市にある成田山新勝寺の東京別院である。江戸時代のはじめ、歌舞伎役者の市川團十郎が不動明王の登場する芝居を打ったことなどにより、成田山の不動明王を拝観したいという気運が江戸っ子たちのあいだで高まった。これを受けて、1703年、1回目の成田不動の「出開帳」（現代風にいえば「秘仏特別公開」）が富岡八幡宮の別当・永代寺で開かれた。これが深川不動堂の始まりである。永代寺は明治維新後、神仏分離令により廃寺となり、旧境内は深川公園となった。しかし不動尊信仰は止むことがなく、1878年に現在の場所に成田不動の分霊

を祀り、「深川不動堂」として存続することが東京府により認められた。境内には仏像が多く、仏の様々な姿や表情を見ることで、仏の世界を感じることができるようになっている。門前の参道は通称「人情深川ご利益通」といい、毎月1・15・28日に縁日が開かれて賑わう。有名な菓子店や食事処がある。

(3) 深川不動堂の三十六童子像

私は5月21日に、地下鉄東西線の門前仲町駅より深川不動堂に行った。門前は下町風の商店街で風情があった。図2上に深川不動の境内図を示す。

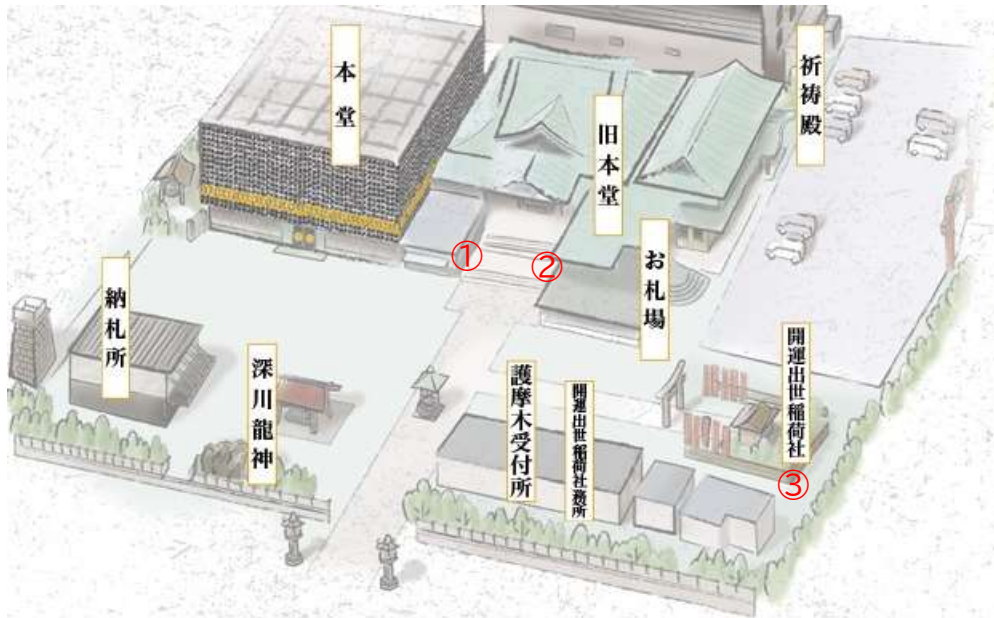


図2. 上：深川不動の境内図、本図は、[6\) のサイト/1](#)より借用。下：深川不動の旧本堂。

図2下に旧本堂を示す。その階段の左右に三十六童子の像が一人ずつ設置されていた。その写真を図3上に示す。[7\) のサイト/3](#)によれば、図3上左が制吒迦童子(せいたかどうじ)で、図3上右が矜羯羅童子(こんがらどうじ)である。



図3. 上左：制吒迦童子(図2上の①)、上右：矜羯羅童子(図2上の②)、下：開運出世稲荷社の横(図2上の③)。

開運出世稲荷社の横（図2上の③）にも、3基の童子像が設置されていた。その写真を図3下に示す。それらの近接写真を図4に示す。[5\)のサイト/8](#)によれば、図4左が制吒迦童子、図4中が矜羯羅童子、図4右が不動慧童子（ふどうえどうじ）である。



図4. 左：制吒迦童子、中：矜羯羅童子、右：不動慧童子。

三十六童子について、[4\)のサイト/1](#)は次のように記載している。

三十六童子というのは不動明王の従者で、さらに一人一人に1千万人の従者がいるそうです。

童子の一人一人については、ウィキペディアに簡単な説明がある。[8\)のサイト/](#)には、次のように書かれている。

お不動様の多くは、脇士(わきじ)に矜羯羅童子(こんがらどうじ：不動様の左側)・制吒迦童子(せいたかどうじ、不動様の右側)を従えた姿でお祀りされていると。これはお不動様の持つ「慈悲(じひ)」と「忿怒(ふんぬ)」を両童子を以て表しているとも云われ、矜羯羅童子が「慈悲」を、制吒迦童子が「忿怒」を表しているのだと。

[5\)のサイト/8](#)には、次のように書かれている。

不動慧童子は不動明王の一つの徳を表す智慧を私たちに授けてくださります。

以上の資料などにより、深川不動の三十六童子像の概要は次の通りである。

三十六童子像

設置場所：東京都江東区富岡 1-17-13 深川不動堂

制作者：不明、設置時期：不明

設置経緯：三十六童子というのは不動明王の従者である。その一人の制吒迦童子（せいたかどうじ）は不動明王の忿怒を表し、その銅像は旧本堂階段の向って左側と開運出世稲荷社横の向かって左側に設置されている。矜羯羅童子（こんがらどうじ）は不動明王の慈悲を表し、その銅像は旧本堂階段の向って右側と開運出世稲荷社横の中央に設置されている。不動慧童子（ふどうえどうじ）は不動明王の智慧を表し、その銅像は開運出世稲荷社横の向かって右側に設置されている。

（４）富岡八幡宮の伊能忠敬像と富岡宮司像

私は深川不動で三十六童子像を探索した後、隣の富岡八幡宮に行って伊能忠敬像と富岡宮司像を探索した。富岡八幡宮の境内図を図5に示す。本図は境内にも掲示されていた。それによると、伊能像は大鳥居の傍（図5の①）にあることが分かったが、宮司像の所在は分からなかった。そこで、授与所の巫女さんに場所（図5の②）を教えて貰った次第である。

（本文は、8 ページに続く。）



図5.
富岡八幡宮の境内図、本図は、[9\) のサイト/1](#)より借用。
①：伊能忠敬像
②：富岡宮司像



図6. 上：伊能忠敬像の周辺、下左：伊能忠敬像、下右：本像の制作者の氏名。

図6上に伊能忠敬像の周辺を、図6下左に伊能忠敬像を、図6下右に本像の作者の氏名を示す。本像の周辺は立派で良く整備されており、私は「流石に富岡八幡宮だ!」と感激した。本像は大きな石碑の前に設置されており、石碑表面には以下の碑文が刻まれていた。

伊能測量二〇〇年記念 伊能忠敬像 平成十三年（二〇〇一年）一〇月吉日 建立
寛政一二年（一八〇〇年）閏四月十九日（陽曆六月一日） 五十五歳の伊能忠敬は、
この地から全国測量の旅に出発しました。

本石碑の裏面には、「伊能忠敬銅像建立基金寄付者御芳名」と題する銘盤が設置されていた。その最後の行に、図6下右に示すように「銅像制作者は彫刻家・酒井道久氏である。」と書かれていた。

本像の紹介や除幕式の模様は、[10\) のサイト/1](#)に詳しく書かれている。また、酒井道久氏の略歴は、[11\) のサイト1](#)に次のように記載されている。

1950年、東京都世田谷区に生まれる。

1976年、東京藝術大学卒業後、同大学大学院修了。

2001年より埼玉県立大学教授。

本像の前には、「伊能忠敬銅像」と題する案内文が掲示されていた。その写真を図7に示す。本文の内容は、本像の概要欄に記載する。

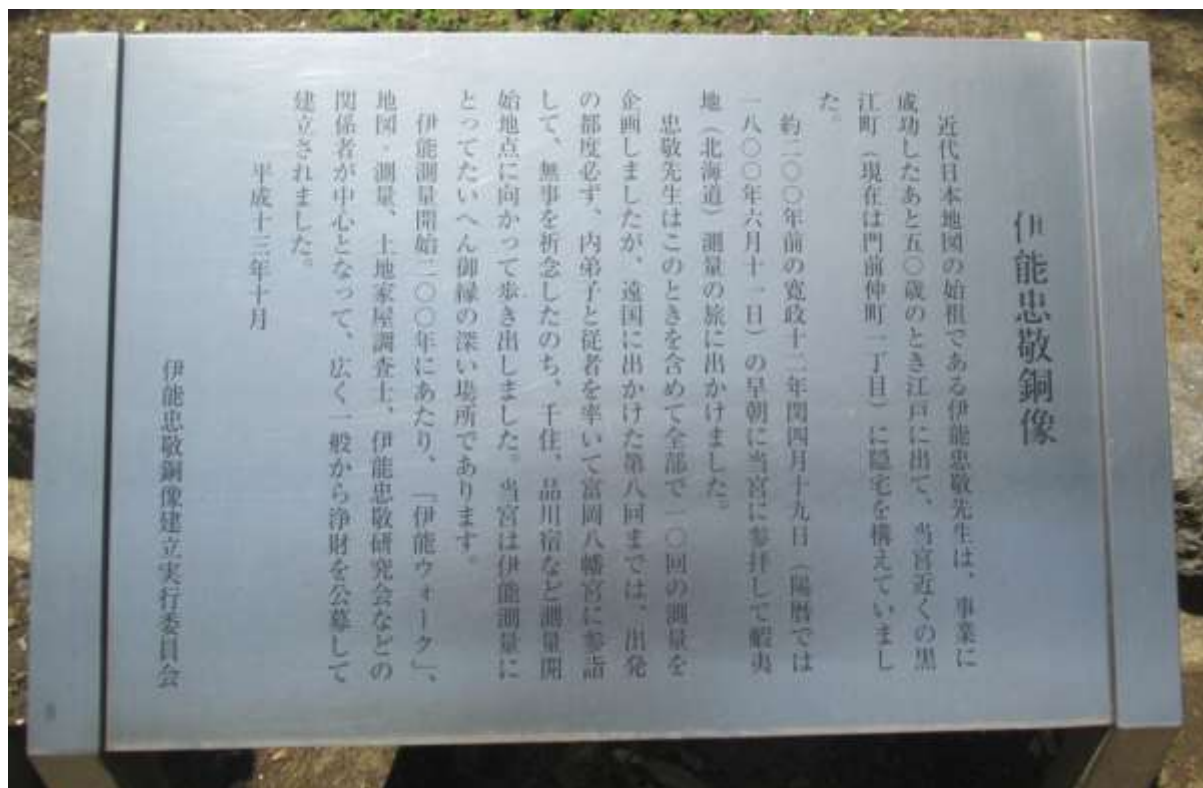


図7. 「伊能忠敬銅像」と題する案内文

以上の資料などにより、伊能像の概要は次の通りである。

伊能忠敬立像

設置場所：東京都江東区富岡 1-23-11 富岡八幡宮大鳥居横

制作者：酒井道久（1950-、東京生まれ、2001年より埼玉県立大教授）

除幕式：2001年10月20日 測量開始200年記念

設置経緯：平成13年10月20日、江戸時代後期の測量家・伊能忠敬翁の銅像が境内大鳥居横に建立され除幕式が行なわれました。測量開始から200年を迎え、50歳を過ぎてから天文学・測量術を学んだ忠敬翁が注目を集めていますが、翁は深川黒江町（現・門前仲町1丁目）に住み、測量旅行出発にあたっては必ず当宮を参拝していたことから縁りの地であるこの八幡宮に銅像が建てられました。

銅像前の碑文には、次の記載あり。

近代日本地図の祖師である伊能忠敬先生は、事業に成功したあと50歳の時、江戸に出て、当宮近くの黒江町（門前仲町1丁目）に隠宅を構えていました。

約200年前の寛政十二年閏四月十九日（陽暦では1800年6月21日）の早朝に当宮に参拝して蝦夷地（北海道）測量の旅に出かけました。

忠敬先生は、この時を含めて全部で10回の測量を企画しましたが、遠国に出かけた第8回までは、出発の都度必ず、内弟子と従者を率いて富岡八幡宮に参詣して、無事を祈念した後、千住、品川宿など測量開始地点に向かって歩き出しました。当宮は伊能測量にとって大変御縁の深い場所であります。

伊能測量開始200年に当たり、「伊能ウォーク」、地図・測量、土地家屋調査士、伊能忠敬研究会などの関係者が中心となって、広く一般から浄財を公募して建立されました。

平成13年10月 伊能忠敬銅像建立実行委員会

本稿では、富岡八幡宮の富岡宮司像も紹介する予定であった。しかし、本稿の容量が制限値に近づいたので、宮司像の紹介を本稿で記載することが出来なくなつた。そこで、宮司像の紹介は続編に記載することとしたので、続編も是非ご覧下さい。

続編の URL: <http://masaniwa.web.fc2.com/RW-237b.pdf>

参考資料

- 1) のサイト: <https://douzou.guidebook.jp/>
- 2) のサイト: <http://masaniwa.web.fc2.com/Ranpo.pdf>
- 3) のサイト: <https://higashiyamato.net/higashiyamatonorekishishi/1573>
- 4) のサイト: <http://naojunmam.blog.fc2.com/blog-entry-1797.html>
- 5) のサイト: <http://fukagawafudou.jugem.jp/?day=20190928>
- 6) のサイト: <http://www.fukagawafudou.gr.jp/guide/index.html>
- 7) のサイト: <http://fukagawafudou.jugem.jp/?eid=3133>
- 8) のサイト: <https://plaza.rakuten.co.jp/hitoshisan/diary/202007170000/>
- 9) のサイト: <http://www.tomiokahachimangu.or.jp/htmls/keidai/keidai.html>
- 10) のサイト: <http://www.tomiokahachimangu.or.jp/htmls/inoTadatak.html>
- 11) のサイト: <http://1019318.web.fc2.com/work/profile.html>